

青い波北陽台

平成30年9月28日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 野中 光治

「行事」の北陽台！

教頭 藤原 勝志

創立40周年記念文化祭・体育大会では、生徒会や実行委員、3年生のリーダーシップのもと、生徒一人ひとりがその力を存分に発揮してくれました。

「受け継ぐ伝統 踏み出す未来 歴史をつなぐ 青き風」

まさにこれまでの伝統に、新しいあなた方の「青き風」が色を添えました。

長崎北陽台高校といえば行事。卒業生や保護者の多くの方々も誇らしげに話してくれます。ところで何故、創立以来、長崎北陽台が「行事」を大事にしてきたのか、みなさんは考えたことがありますか。確かに行事は楽しく、クラスの親睦を深める最高の機会になります。しかし、みなさんも気づいていると思いますが、実は「楽しい」のは最初と最後だけで、途中は「楽しくない」ことの方が多いのです。必ず一度はゴタゴタが起り、親睦どころか険悪なムードにさえなることがあります。体育系・文化系、熱い人・冷めた人、緻密な人・大雑把な人等々、さらにはお願いされてなったリーダーさえ、決断力がないとか統率力がないとか非難の的になる始末。ぶつかり合う個性と個性。埋まらない立場と責任の違い。特にリーダーの苦労は大変なものです。しかし、これがいいのです。一触即発の中、一人ひとりが自分なりに、直面している様々な問題と向き合い関わることで、少しずつ自分の立ち位置を知り、覚悟を決める。ばらばらだったお互いの想いや力が知らず知らずのうちに融合し、それが大きな力となり一気に加速していく。「苦しさ」が「楽しさ」に変わる瞬間です。結局、物事を成すのは、「覚悟」であり、その熱や想いの強さなのです。そして勝敗に関わらず最後に生まれる「達成感の共有」、これが「行事」の魅力だと思います。集団の中で他を認め、自らを活かす喜びを知ることで人は成長します。実際、進路を実現させるのは、「学力」だけではありません。身に付けた「知識」や「スキル」を「発揮させる力」＝「自分を信頼できる力」が不可欠です。その力は客観的な自分自身の評価と努力によって培われ、人として「成熟」することでより安定感を増します。他者との関わり中で「自分」を知り、どんな時も、自らを信頼できる自分を創る。授業を削ってまでも、40年間変わらず学校を挙げて取り組む所以です。これは部活動の意義も同じです。

これからも長崎北陽台は、「師弟同行」のもと日々の学習はもちろん行事に部活に全力で取り組み「知・徳・体」を備えた人材を育てていく「陽の丘」であってほしいと思っています。みんなで力を合わせて歴史をつないでいきましょう。

創立40周年記念文化祭・体育大会

受け継ぐ伝統 踏み出す未来

歴史をつなぐ 青き風

9月2日（日）に文化祭を行いました。多くの保護者や地域の方々、中学生に会場に来ていただき、ステージ発表や展示会場は大いに盛り上がりました。うどんとカレーを提供した食物バザーも、大盛況のうちに終わりました。ありがとうございました。



雨のため順延した体育大会は、9月10日（月）に晴天に恵まれ無事行うことができました。

1、2年生は本番では息の合った集団演技や創作ダンスを見せ、3年生を中心とした応援合戦も放課後等各班限られた時間の中でそれぞれ練習を重ね、完成度の高い演技を披露しました。総合優勝は1班（赤）で、応援合戦は3班（黄）が栄冠を勝ち取りました。



理数科1年生 長崎大学研修 成果発表会

9月14日（金）の午後、理数科1年生の研修成果発表会を行いました。長崎大学水産学部の先生方にご協力いただき、6月からグループにわかれて実施してきた探求活動をポスターにまとめ、各グループの代表者がわかりやすく、研修の成果を発表しました。



将来と社会を見る

1 学年主任 林 圭介

二つの大きな行事が終了しました。どちらも初めてで、なかなか上手くできなかつたところもあると思いますが、文化祭はあと一回、体育大会はあと二回あります。今回学んだことや、こうすべきだったという反省は次回に生かしていきましょう。

さて、今回の「積土成山」では、「将来、社会にどのように貢献したいか」というテーマで、いつもの二倍の長さの文章を書いてもらいましたが、どうでしたか。いくつか読ませていただきましたが、将来の職業像というものが全く見えていない人が多い、ということが気になりました。おおよその分野だけでもいいので、こんな仕事をして地域や国に貢献していきたいという目標が持てればいいなと思います。

そのためには、日ごろ社会の在り方に目を向けて、どういうことが起こっていて、何が求められているのか、そういう情報を仕入れていくことも必要でしょう。そろそろ小論文指導も始まります。ある事柄について自分の意見を持つということが求められるようになります。新聞やニュースをとおして、社会に対する視野を広げていきましょう。

二大行事を終えて

2 学年主任 下村 かおり

長崎北陽台高校は今年創立40周年を迎え、文化祭・体育大会も開催第40回目の記念すべき行事となりました。2年生にとって文化祭のクラス参加は今回が最後であり、各クラス、限られた時間の中で文化祭実行委員を中心に準備を進めていました。終了後も一人ひとりが責任を持って最後まで復元作業に取り組んでいたと思います。開会式で実行委員長の浦駿介くん(2年7組)が、「今年のテーマは“受け継ぐ伝統 踏み出す未来 歴史をつなぐ 青き風”です。このテーマのように39年間先輩方が守ってくださった伝統をしっかりと受け継ぎ、40年目の新しい1歩を踏み出していきましょう」と文化祭に対する意気込みを語りました。39回生も、体育大会では、来年はリーダーとして下級生を牽引する立場となります。卒業生、そして現3年生から受け継いだ伝統をどのように発展させていくのか、楽しみにしています。

Don't Panic

3 学年主任 池田 裕一

40周年記念文化祭・体育大会も終わり、3年生の皆さんがこの北陽台だよりを目にするのは高校生活最後の定期試験に臨んでいる頃だと思います。それが終われば、いよいよセンター試験まで100日を残すのみとなります。100日と言えば、3ヶ月とちょっと。焦りを感じる人もいるかもしれません。

しかし、考えようによっては、100日あればかなりのことが可能だとは思いませんか? ジュール・ヴェルヌの『80日間世界一周』の旅程を現在、飛行機で再現するためには最短で43時間で済むそうです。つまり、100日あれば、世界を50周以上することができるということです。(しかもマイルがたまり放題です。)それに比べれば、100日間で目標点に到達させることは、より現実的です。100点不足している人は1日1点、200点の人は1日2点を積み重ねていけばいいのです。今の自分に必要なことを一つ一つ積み重ねていくこと。そのことに集中してさえいれば、むやみに不安や焦りを抱くこともなくなるでしょう。地に足をつけて、着実に前に進んでいく皆さんの姿を見守っていきたいと思っています。

《 10月の主な行事予定 》

9月 27日(木) ~ 2日(火) 1・2年2学期中間試験

3年学年末試験

2日(火) 評議会・専門委員会

3日(水) 3年秋のレクレーション

6日(土) 土曜自学(3年)

10日(水) 防災避難訓練

13日(土) ~ 14日(日) 校外記述模試(3年)

18日(木) 人権教育講話

20日(土) 土曜自学(3年)

22日(月) 大学の先生による特別講義(2年)

24日(水) 代休(10/27分) オープン模試(3年)

25日(木) 芸術鑑賞会

27日(土) 創立40周年記念式典(兼開校記念日集会)

28日(日) オープン模試(3年)

31日(水) 全校集会(駅伝壮行式)